

①小禄道路	延長=5.7km	平成 23 年度新規採択
-------	----------	--------------

1) 事業概要

沖縄自動車道、南風原道路、豊見城東道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県那覇市鏡水～豊見城市名嘉地



図 事業概要図

2) 進捗状況



図 事業進捗状況

3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 22 年度		
単純合計	601 億円	78 億円	680 億円
基準年における 現在価値	408 億円	22 億円	430 億円

便益

	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 22 年度			
単年便益	33 億円	5.2 億円	3.6 億円	41 億円
基準年における 現在価値	589 億円	91 億円	68 億円	748 億円

結果

	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体	1.7	319 億円	7.4%

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [小祿道路：5.7 km]	交通量	[台/日]	—	27,300	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.7	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	23	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 ：1.4km	交通量	[台/日]	53,900	50,600	-3,300	0.94
		走行時間	[分]	2.6	2.4	-0.2	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	24	22	-2.0	0.92
	(県) 那覇 空港線 ：1.7km	交通量	[台/日]	22,300	12,600	-9,700	0.57
		走行時間	[分]	2.9	2.6	-0.3	0.90
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	5.7	-5.3	0.52
	国道 331 号 ：5.1km	交通量	[台/日]	29,800	20,000	-9,800	0.67
		走行時間	[分]	11.0	8.9	-2.1	0.81
		走行時間費用	[億円/年]	54.0	27.0	-27.0	0.50
	(県) 那覇 内環状線 ：2.8km	交通量	[台/日]	24,300	19,600	-4,700	0.81
		走行時間	[分]	5.0	4.7	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	21.0	15.8	-5.2	0.75
	(主) 奥武 山米須線 ：4.0km	交通量	[台/日]	18,500	14,700	-3,800	0.79
		走行時間	[分]	9.3	8.4	-0.9	0.90
		走行時間費用	[億円/年]	30.0	22.0	-8.0	0.73



図 主な周辺道路の位置

## 5) 整備効果

### ① 時間短縮

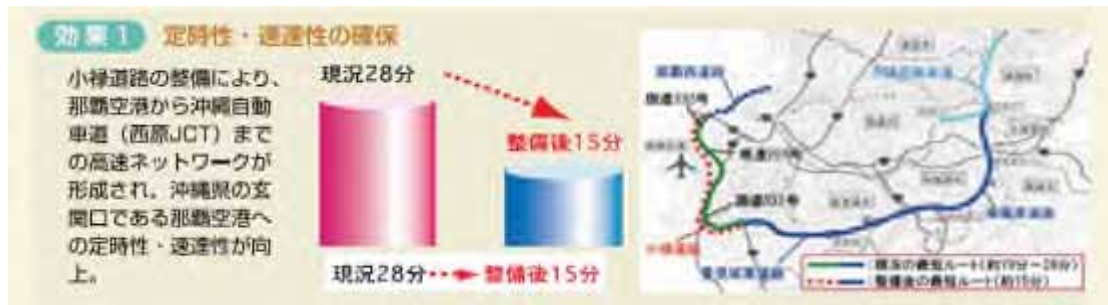


図 那覇空港から沖縄自動車道までの時間短縮

### ② 交通分散



図 小禄地区の混雑緩和および那覇中心部における通過交通の削減効果

### ③ 混雑緩和



図 混雑緩和

出典：道路事業パンフレット（国道506号小禄道路）、南部国道事務所



### 3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	594 億円	69 億円	663 億円
うち残事業分	436 億円	63 億円	498 億円
基準年における 現在価値	536 億円	33 億円	569 億円
うち残事業分	320 億円	20 億円	340 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成25年度			
単年便益	15 億円	2.3 億円	0.48 億円	18 億円
基準年における 現在価値	1,519 億円	205 億円	78 億円	1,801 億円
うち残事業分	1,045 億円	121 億円	54 億円	1,221 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.2	1,233 億円	11.1%
残事業	3.6	881 億円	14.4%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B) - (A)	比率 (B) / (A)	
①新設・改築道路 [読谷道路 : 6.0 km]	交通量	[台/日]	—	27,600	—	—	
	走行時間	[分]	—	6.8	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	36.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 : 4.7km	交通量	[台/日]	48,100	33,400	-14,700	0.69
		走行時間	[分]	12.0	8.2	-3.8	0.68
		走行時間費用	[億円/年]	127.0	55.0	-72.0	0.43
	(県) 6 号 : 5.1 km	交通量	[台/日]	13,100	9,500	-3,600	0.73
		走行時間	[分]	17.0	14.0	-3.0	0.82
		走行時間費用	[億円/年]	48.0	38.0	-10.0	0.79
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	13,800	12,400	-1,400	0.90
		走行時間	[分]	4.3	3.6	-0.7	0.84
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	7.7	-3.3	0.70



図 主な周辺道路の位置

③沖縄西海岸道路（嘉手納バイパス）	延長=3.2km	平成 26 年度再評価
-------------------	----------	-------------

1) 事業概要

一般国道 58 号の読谷村から嘉手納町間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、周辺観光施設へのアクセス向上及び地域開発プロジェクトを支援することを目的とする道路。

○事業区間：沖縄県中頭郡読谷村古堅～中頭郡嘉手納町兼久



図 事業概要図

2) 進捗状況

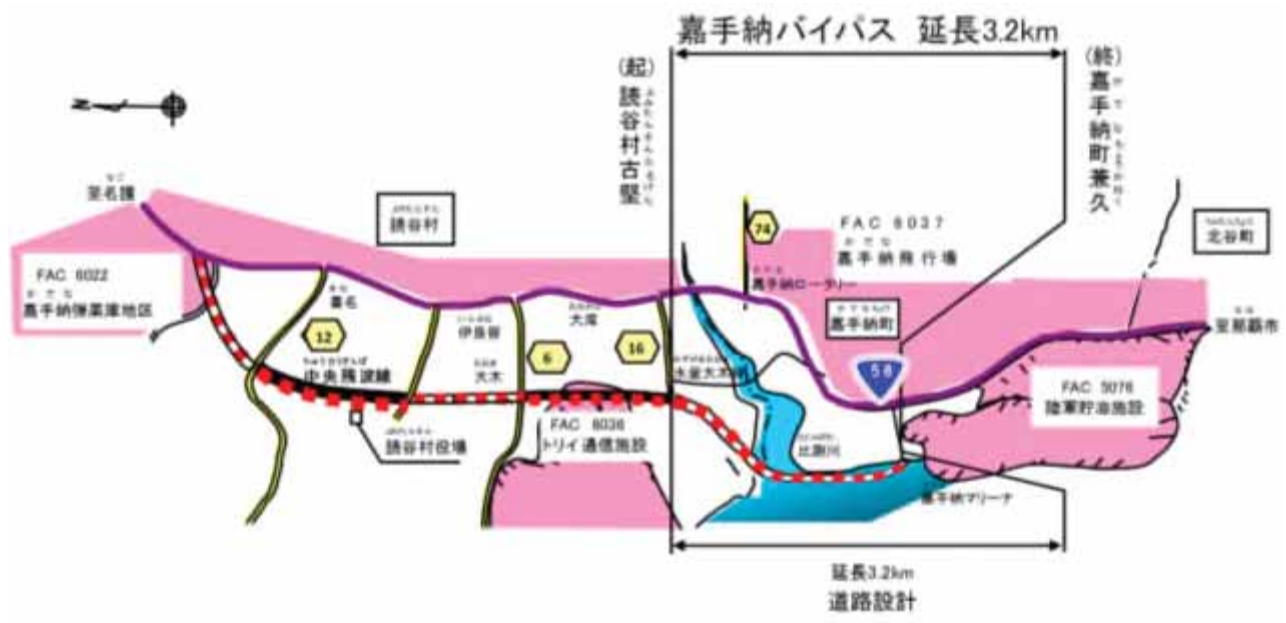


図 事業進捗状況



3) 費用便益分析の結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 26 年度		
単純合計	266 億円	43 億円	309 億円
うち残事業分	237 億円	43 億円	280 億円
基準年における 現在価値	221 億円	13 億円	234 億円
うち残事業分	177 億円	13 億円	190 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 26 年度			
単年便益	6.0 億円	0.78 億円	0.74 億円	7.6 億円
基準年における 現在価値	393 億円	39 億円	26 億円	458 億円
うち残事業分	393 億円	39 億円	26 億円	458 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	2.0	224 億円	7.0%
残事業	2.4	268 億円	9.7%

※この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

4) 交通状況の変化

表 交通状況の変化（平成 42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [嘉手納バイパス : 3.2 km]	交通量	[台/日]	—	22,800	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.2	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	17.0	—	—	
② 主な 周辺 道路	国道 58 号 : 2.7km	交通量	[台/日]	57,400	47,500	-9,900	0.83
		走行時間	[分]	6.4	5.0	-1.4	0.78
		走行時間費用	[億円/年]	65.0	43.0	-22.0	0.66
	町道水釜大 木線 : 0.7 km	交通量	[台/日]	27,600	11,800	-15,800	0.43
		走行時間	[分]	3.8	3.5	-0.3	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	19.0	7.2	-11.8	0.38
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	18,700	12,400	-6,300	0.66
		走行時間	[分]	4.6	3.6	-1.0	0.78
		走行時間費用	[億円/年]	15.0	7.7	-7.3	0.51



図 主な周辺道路の位置